令和7年度

土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書

（　農地中間管理機構関連農地整備事業　戸野地区　）

事業主体　広島県

施工場所　広島県東広島市河内町

第１章　目　　的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２章　地域及び地積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第１節　地　　域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２節　地　　積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第３章　現　　況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第１節　気象及び海象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1 一般気象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2 特殊気象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3 海　　象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第２節　土地状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1 地形，土壌及び侵食の程度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2 土地分類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3 土地利用の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4 土地所有の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第３節　水利状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
1 用水状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2 排水状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
3 河川状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第４節　道路概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
1 道路概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2 主要道路一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第５節　地域農業の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
1 産業別就業人口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
並びに専兼別農家数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
3 動力農機具及び主要家畜頭数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
4 主要作物作付状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
5 農業の動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第６節　地域環境の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

第４章　一般計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

第１節　事業計画の要旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
1 要　　旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2 事業別面積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

第２節　営農計画及び土地利用計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
1 営農計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2 土地利用区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3 作付方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
4 生産計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
5 労働改善計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
6 級地別土地利用区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
7 土地配分計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第３節 用水計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
1 計画基準年 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
2 計画かんがい方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
3 計画用水系統 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
4 計画用水量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
5 水源計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第４節　排水計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
1 計画基準雨量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2 計画排水方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3 計画排水系統 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
4 計画排水量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
5 排水対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
6 たん水検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第５節　道路計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
1 道路及び索道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2 路線配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第６節　農用地造成計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
1 農用地造成計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2 土壌改良 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第 7 節　洪水調節計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
1 計画基準雨量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
2 計画洪水量及び調節量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3 貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
4 洪水調節検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
5 管理計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

第 8 節　干 拓 計 画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

第 9 節　農用地整備計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
1 区画整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
2 暗渠排水 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3 客土 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4 農地保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第 10 節　老朽ため池改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
1 洪水吐改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
2 堤体補強計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
3 取水施設改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

第 5 章　主 要 工 事 計 画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

第 1 節　用水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
1 貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2 頭首工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
3 揚水機 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
4 用水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

第 2 節　排水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
1 排水水門 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
2 排水機 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
3 排水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
4 その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第 3 節　道路及び索道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
1 道 路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
2 索 道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第 4 節　農用地造成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
1 農用地造成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
2 土壌改良 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 5 節　洪水調節施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
1 貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
2 頭首工及び導水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 6 節　干拓施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
1 堤防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
2 潮止め ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
3 付属施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
4 埋立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

第 7 節　農用地整備施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
1 区画整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
2 暗渠排水 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
3 客土 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
4 除礫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
5 農地保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

第 8 節　老朽ため池改修施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
1 貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
2 堤体補強施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

第 6 章　附 帯 工 事 計 画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 7 章　工事の着手及び完了の予定時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 8 章　環境との調和への配慮 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 9 章　換地計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 1 節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 ・・・・・・・・ 38

第 2 節　換地区の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
1 換地区の名称, 所在, 面積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
2 換地区を設定する理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 3 節　換地区計画樹立の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
1 従前の土地の地積の基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
2 用途別予定地積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
3 農用地集団化の方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
4 非農用地の換地方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 4 節　土地の評価及び清算の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
1 評価の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
2 清算の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 5 節　換地計画樹立の年度計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 6 節　換地処分の時期に関する特則 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 10 章　事業費の総額及び内訳 ・・・・・・・・・・・・・ 41

第 11 章　効　　用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

第 12 章　関係する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

第 13 章　現況・計画図面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
1 現況平面図
2 計画平面図及び土地利用計画図
3 主要構造図

第１章　目　　的

本地区は東広島市河内町の西部、東広島市の中心地から北東約10kmに位置し、西条駅から車で約25分、県道33号線、沼田川に沿って形成された豊かな自然に囲まれた地域である。

近年、農業従事者の高齢化が進み、区画整理が不十分な本地区では、農作業が困難になっており、担い手への農地集積・集約化も進まない状況である。

そこで、区画整理を行うことで農地集積・集約化を進めるための条件を整備し、農業生産法人の新規参入により農地の効率的かつ有効的な利用を展開し、農産物の生産拡大と農業経営の安定化を図る。また、今後の地域の活性化において、農業生産法人による経営や、従来の稲作中心から野菜などの園芸作物の導入により新規認定農業者の参入を誘引し、収益性の高い農業経営基盤の確保を目指す。

第２章　地域及び地積

第１節　地　　域

（第1表）

事　業　名	地　　域
農地中間管理機構関連農地整備事業	広島県東広島市河内町

第２節　地　　積

（第2表）

事　業　名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農地中間管理機構関連農地整備事業	東広島市	(27.4) 28.4	0.3			(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	
合　計		(27.4) 28.4	0.3	0.0	0.0	(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	

第３章　現　　況

第１節　気象及び海象

１ 一般気象

（第3表-1）

観測所名	広島	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1961 年～ 2019 年	5 月～ 9 月	10 月～ 4 月		
平均気温	(℃)	23.8	10.0	15.8	
降水量	平均 (㎜)	961.3	595.8	1,557.1	
	基準年 (㎜)				
降水日数	平均 (㎜)	49	53	102	
	基準年 (㎜)				
根雪期間		－ 月 － 日 ～ － 月 － 日		－ 日間	
無霜期間		－ 月 － 日 ～ － 月 － 日		－ 日間	
最多風向		北北東	最大風速 （風 向）	36.0 m／s （ 南 ）	最多風向発生時期 9 月 ～ 11 月 最大風速発生年月日 1991年9月27日

２ 特殊気象

（第3表-2）

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
東広島															
観測期間 S26年～R1年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量 (㎜)	204	H30.7.6	109.2	168	H5.7.27	22.2	168	S50.8.17	22.2	162	S35.7.7	17.3	161	H11.6.29	16.6
最大時間雨量 (㎜)	73	H18.8.11	162.2	54	H11.9.15	19.3	53	H30.7.6	17.3	52	S59.8.15	15.4	51	H9.8.5	13.8
最大4時間雨量 (㎜)	133	H21.7.24	85.5	126	H11.6.29	55.9	102	H30.7.6	13.5	99	H7.7.22	11.4	97	H1.8.27	10.2
最大連続雨量 (㎜)	438	H30.7.3 ～7.8	－	422	S54.6.26 ～7.2	－	367	S60.6.21 ～6.25	－	326	S51.9.8 ～9.13	－	313	H5.7.27 ～7.30	－
最大連続干天日数 (日)	56	S46.10.30 ～12.24	74.1	52	H16.1.1 ～2.21	44.5	51	S29.10.7 ～11.26	39.1	46	H22.8.8 ～9.22	20.6	44	S61.1.5 ～2.17	15.9

3 海 象　　該当なし

(第3表-3)

観　測　所　名		既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位
観　測　期　間	年～　年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
実　　測　　値		(　　)						(　　)

第 2 節 土 地 状 況

1 地 形 , 土 壌 及 び 侵 食 の 程 度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田・畑						樹園地・その他								受益地標高(m)	
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～12°	8°～15° 12°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha)		(3.6) 3.7	(18.1) 18.7	(4.8) 5.0	(1.2) 1.3	(27.7) 28.7									(315) 240	(270) 190
	比率(%)		(13) 13	(66) 66	(17) 17	(4) 4	(100) 100										
合計	面積(ha)		(3.6) 3.7	(18.1) 18.7	(4.8) 5	(1.2) 1.3	(27.7) 28.7										
	比率(%)		(13) 13	(66) 66	(17) 17	(4) 4	(100) 100										

(第4表-1-2)

項目 / 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農地中間管理機構関連農地整備事業	計	
強グライ土壌 壌土還元型 D-34	青灰	なし	なし	－	－	－	－	グライ層(K1)	水積	非固結堆積岩	(6.9) 7.2	(6.9) 7.2	
灰色土壌 壌土型 F-52	灰～灰褐灰	なし	なし	－	－	－	－	なし	洪積世堆積残積(崩積)水積	－ 非固結堆積岩	(10.7) 11.1	(10.7) 11.1	
灰色褐色土壌 壌土マンガン型 G-63	灰褐	なし	なし	－	－	－	－	なし	水積	非固結堆積岩	(6.6) 6.8	(6.6) 6.8	
礫質土壌 壌土マンガン型 K-93	灰	なし	30～60cm以下	－	－	－	－	なし	水積	非固結堆積岩	(3.5) 3.6	(3.5) 3.6	
計												(27.7) 28.7	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備　考
		0	0～25%	25%～50%	50%	0	3㎜未満	3～5㎜	5㎜以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土 地 分 類　　該当なし

(第4表-2-1)

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備　考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
	(ha)	※ (ha)	～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)	(ha)	
													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

該当なし

(第4表-2-2)

級地別 / 市町村名	干　　拓					備　　考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3 土 地 利 用 の 状 況

(2) (9)

(令和7年3月現在)　　(第4表-3)

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕　地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地中間管理機構関連農地整備事業	東広島市	(27.4) 28.4	0.3									(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	
合　計		(27.4) 28.4	0.3									(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	

4 土 地 所 有 の 状 況

（令和7年3月現在）　　（第4表-4）

事業名	所有別 区分	個人所有	国所有	県所有	市所有	改良区所有	計	備　考
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積 (ha)	(27.7) 28.7			(1.3) 1.5		(29.0) 30.2	
	受益者数 (人)	(63) 62					(63) 62	
	筆数 (筆)	(364) 379			(19) 18		(383) 397	
	権利関係 (人)	(172) 67					(172) 67	
	備考 (関係戸数)							
合　計	面積 (ha)	(27.7) 28.7			(1.3) 1.5		(29.0) 30.2	
	受益者数 (人)	(63) 62					(63) 62	
	筆数 (筆)	(364) 379			(19) 18		(383) 397	
	権利関係 (人)	(172) 67					(172) 67	
	備考 (関係戸数)							

第 3 節　水 利 状 況

1 用 水 状 況

河川、ため池、渓流水を水源としている。

(1) 用 水 系 統

別添資料①参照

(2) 用 水 施 設

(ア) 取 水 方 法 一 覧 表

(第5表-1)

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備　考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池					1	1.0	1	1			1	0.006		ため池
	井堰					10	(22.3) 23.2	10	(22.3) 23.2			10	(0.148) 0.154		
	渓流					2	1.6	2	1.6			2	0.010		
	揚水機														
	その他														
合　計						13	(24.9) 25.8	13	(24.9) 25.8			13	(0.164) 0.170		

(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表　　該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 / 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構　造	規　模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備　考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合　計								

(3) 用 水 に 関 す る 被 害 状 況

(ア) 用 水 不 足 に よ る 被 害 状 況　　該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m3)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均 (m3/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年 (m3/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均 (千m3)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年 (千m3)	平均減産量 (t) 作物名	平均減産量 (t) 減産量 (t)	備考
合計										

(イ) そ の 他 の 被 害 状 況　　該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃) 最高	水温(℃) 最低	水質	被害量 (t)	備考

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
合計											

2 排水状況

(1) 排水系統
別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	項目	排水面積 500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満		計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備考
			箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha			
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路			1	(119.6) 119.9	4	(128.0) 128.9	5	(247.6) 248.8	(11.726) 11.765	(14.071) 14.118	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合計					1	(119.6) 119.9	4	(128.0) 128.9	5	(247.6) 248.8	(11.726) 11.765	(14.071) 14.118	

(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表　　該当なし

(第5表-5)

事業名	施設名	項目	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合　　計									

(3) 排 水 に 関 す る 被 害 状 況　　該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (㎜)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	乾湿状況 (ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 作物名	減産量(t)	備考
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合　計			平均														
			基準年														

3　河 川 状 況

(1) 河 川 状 況　　該当なし

(第5表-7)

項目 / 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備　考

(2) 洪 水 に 関 す る 被 害 状 況　　該当なし

(第5表-8)

項目 / 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節　道 路 概 況

1 道 路 概 況

本地区は、区域の北側に沿って県道33号線が東西に横断している。この主要道路から本地区へ接続する農道は未改修で農道の幅員が狭く高低差も大きいため、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。さらに、県道のため一般交通量も多く合流の際の安全性が低いため、営農時の県道通行は極力抑えたい。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m) 全幅	幅員 (m) 有効	構造	改修の要否	備考
	県道33号線	県	3,350	6.5 ～ 10.0	－	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 / 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業等 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売り小売業 (人)	金融保険業 (人)	不動産業等 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
東広島市	90,095	9,293	67	164	9	4,792	22,554	492	5,507	12,302	1,083	1,350	12,634	2,724	17,124	
比率(%)	100	10.3	0.1	0.2	0.0	5.3	25	0.5	6.1	13.7	1.2	1.5	14	3	19.1	

資料:国勢調査(H27)

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸) 例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20ha以上	自給的農家	1戸当たり平均農用地面積(ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 一戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専兼業別家数(戸) 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
東広島市	(3995)	－	(960)	(1896)	(678)	(214)	(116)	(51)	(43)	(15)	(22)	(2531)	(0.9)	(0.1)	(0.3)	(1.3)		(1.3)	－	－	(1330)	(133)	(2532)	
	3,055		800	1,382	467	138	84	48	52	23	18	2,382	1.2	0.1	0.1	1.4		1.4	－	－	207	106	2,018	
比率(%)	(100)		(24)	(48)	(17)	(5)	(3)	(1)	(1)	(0)	(1)										(33)	(3)	(64)	
	100		26	45	15	5	3	2	2	1	1										7	3	67	

資料:農業センサス(R2)((H27))、広島農林水産統計年報

3 動力農機具及び主要家畜頭数

（第7表-3）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	トラクター等		田植機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
東広島市	4,145	3,810	3,415	3,357	3,307	3,214			784	13	X	17	－	－	
100戸当り数量(台、頭)	109		102		103										
利用戸数割合(%)	125		110		105										

資料：農業センサス(H27)

4 主要作物作付状況

（第7表-4）

市町村名			東広島市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)			3,718				3,718			
総本地面積(ha)			－							
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg・10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水稲	3,310	508					89	
		大豆	66	82					2	
	裏作									
	小計									
畑	春夏作									
	秋冬作									
	小計									
樹園地										
	小計									
計			－				－			
市町村別延べ作付率(%)			－				－			

資料：広島農林水産統計年報(H29-30)

5 農業の動向

（第7表-5）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	89	75	耕地	96	94	米	101	94	乳用牛	－	－	耕運機	85	68		A：平成27年
	専業農家数	102	92	田	96	94	麦類	－	－	肉用牛	－	－	田植機	82	66		B：平成22年
	第一種兼業農家数	60	40	普通畑	93	91	豆類	188	176	豚	－	－	コンバイン	83	69		C：平成17年
	第二種兼業農家数	76	57	樹園地	－	－	野菜	152	168	採卵鶏	－	－	防除機	－	－		
	農業従事者数	81	57														
変化の理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。																

資料：農業センサス，広島農林水産統計年報

第６節　地域環境の概要

本地区は、東広島市の北東部に位置し、旧河内町の沼田川沿いに面した谷地形の農地であり、ため池や湿地とあわせ河川環境がとても豊かで多種・多様な動植物が多く、希少な生物の生育・生息地となっている。

また、本地区は「東広島市田園環境整備マスタープラン」において”環境配慮区域”及び”環境創造区域”に指定されており、工事の施工前から随時確認を行い、必要に応じて工法検討を行う必要がある。なお、現地調査の結果、保護すべき植物としてヒメフラスコモ・ミズマツバ・オオアカウキクサなど6種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたトノサマガエル・カヤネズミ・ゴクラクハゼなど11種の生息が確認されており、環境省及び広島県のレッドデータリストに掲載されている動植物も確認されている。

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１ 要　旨

本地区は農業の個別経営から法人経営へと移行するため、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路、暗渠排水の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する地元営農法人への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

２ 事業別面積

（第8表）

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業																	
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林原野等 (ha)	その他			小計 (ha)	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林原野等 (ha)	その他			小計 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理		(24.5) 25.3	0.3					(24.8) 25.6									(24.8) 25.6	
(暗渠排水)		(11.3)	(0.3)					(11.6)									(11.6)	
計		(24.5) 25.3	0.3					(24.8) 25.6									(24.8) 25.6	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１ 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備や暗渠排水などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大・担い手の創出を推進する。

２ 土地利用区分

（第9表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	(27.4) 28.4	0.3					(27.7) 28.7			(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	
	計画	(24.5) 25.3	0.3					(24.8) 25.6			(4.2) 4.6	(29.0) 30.2	
計	現況	(27.4) 28.4	0.3					(27.7) 28.7			(1.3) 1.5	(29.0) 30.2	
	計画	(24.5) 25.3	0.3					(24.8) 25.6			(4.2) 4.6	(29.0) 30.2	

3 作付方式

（第9表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	水稲	田				○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×				○:播種
		－	畑																									△:定植
	計画	水稲	田				○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×				×:収穫
		野菜	畑	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	
				3年目												4年目												
	現況	水稲	田				○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×				
		－	畑																									
	計画	水稲	田				○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×				
		野菜	畑	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	

4 生 産 計 画

（第9表-3）

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積(ha) 現況	計画	増減	作付率(%) 現況	計画	単位面積当たり収量(kg/10a) 現況	計画	増減	生産量(t) 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳(t) 面積増減	単位面積当たり収量増加	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	田	表作	水稲	(20.4) 21.1	(5.1) (16.1) 5.3 17.2	(△4.3) △ 3.9	(100) 100	(74) 74	(533) 527	(565) (544) 559 538	(32) (11) 32 11	(108.7) 111.2	(1.6) (87.6) 1.6 92.5	(△19.5) △ 17.1	(△22.9) △ 20.6	(3.4) 3.5	
			白ネギ		(2.5) 2.3	(2.5) 2.3		(11) 10	(2,034) (1,769) 1,774 1,774	(2,034) 2,005	(265) 231		(6.6) (50.9) 5.3 46.1	(57.5) 51.4	(50.9) 40.8	(6.6) 10.6	
			ホウレンソウ		(1.5) 2.5	(1.5) 2.5		(7) 11	(1,112) (1,279) 1,154 1,154	(1,279) 1,304	(167) (0) 150		(2.5) (19.2) 3.8 32.6	(21.7) 36.4	(19.2) 28.9	(2.5) 7.5	
			タマネギ		1.0	1.0		(5) 4	(2,390) (2,078) 2,538 2,538	(2,390) 2,868	(0) (312) 330		(3.1) (23.9) 3.3 28.7	(27.0) 32.0	(23.9) 25.4	(3.1) 6.6	
			花壇苗		(0.4) －	(0.4) －		(2) －	(144,000) (本/10a) －	(144,000) (本/10a) －	(0) －		(576.0) (千本) －	(576.0) (千本) －	(576.0) (千本) －	(0.0) －	
	畑	表作	白ネギ		0.3	0.3		1	(1,769) 1,774	(1,769) 1,774	0		5.3	5.3			
	計			(20.4) 21.1	(21.8) 23.3	(1.4) 2.2	100	100									

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	田	水稲	(16.1)	人力	39.6	11.3	28.3	
			17.2	機械力	12.9	7.0	5.9	
		白ネギ	(2.5)	人力	599.4	450.9	148.5	
			2.3	機械力	137.1	61.8	75.4	
		ホウレンソウ	(1.5)	人力	296.3	229.1	67.2	
			2.5	機械力	55.9	24.7	31.3	
		タマネギ		人力	172.7	78.4	94.3	
			1.0	機械力	57.2	44.9	12.3	
		花壇苗	(0.4)	人力				
			0.0	機械力				
	畑	白ネギ		人力	599.4	450.9	148.5	
			0.3	機械力	137.1	61.8	75.4	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計		(21.8)	人力	1,707.4	1,220.7	486.8	
			23.3	機械力	400.3	200.1	200.2	

6 級地別土地利用区分　　該当なし

（第9表-5）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7 土地配分計画　　該当なし

（第9表-6）

項目 / 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画(ha)								備　考
		田	転換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用 水 計 画

１ 計 画 基 準 年

近傍東広島観測所の資料(昭和26年～平成30年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、昭和48年を計画基準年とする。

２ 計 画 か ん が い 方 式

開水路(KF)にて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月21日～9月15日の148日間とし、代掻き期は4月21日～4月30日の10日間とする。

３ 計 画 用 水 系 統

別添資料②参照

４ 計 画 用 水 量

(1) か ん が い 用 水

(第10表-1-1)

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業		計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	面積 (ha)	水田畑利用 深一日当たり計画平均かん水 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	畑地かんがい 深一日当たり計画平均かん水 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	その他 平均計画単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	消費水量 (m3/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m3/s)	最大 (m3/s)	備考
A	農業用水	(16.6) 17.0		(16.6) 17.0	22	140	(16.3) 16.7	30	7	0.3						(0.065) 0.067	15	(0.070) 0.072	(0.077) 0.080	
B	農業用水	0.7		0.7	22	140	0.7	30	7	0.0										
C	農業用水	0.3		0.3	22	140	0.3	30	7	0.0										
D	農業用水	(1.3) 1.4		(1.3) 1.4	22	140	(1.3) 1.4	30	7	0.0										
E	農業用水	0.9		0.9	22	140	0.9	30	7	0.0										
F	農業用水	(0.8) 0.9		(0.8) 0.9	22	140	(0.8) 0.9	30	7	0.0										
計		(20.6) 21.2		(20.6) 21.2			(20.3) 20.9			0.3								(0.070) 0.072	(0.077) 0.080	

(2) 営 農 飲 雑 用 水　　該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	(リットル/日)	(リットル/日)			

5 水 源 計 画

(1) 水 利 用 計 画　　別添資料③参照

(第10表-2)

区分 ＼ 項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d= c/(1-a) (千m3)		e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		損失率 :a
(事業名)														
	計													

(2) 用 水 対 策

(ア) 貯 水 池

(第10表-3)

貯水池名 ＼ 項目	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
			事業名						
	直接	間接	農地中間管理機構関連農地整備事業	計					
不明	-	-	1.0	1.0	-	-	-	0.003	ため池
計									

(イ) 井 堰 及 び 自 然 取 水 口

(第10表-4)

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (km2)	かんがい面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	計	取水量(m3/s) 最大	平均	渇水量 (m3/s)	備考
外頭原頭首工ほか6箇所	沼田川	-	(19.7)20.1	(19.7)20.1	(0.071)0.072	(0.069)0.070	-	
-	渓流	-	1.1	1.1	0.004	0.003	-	
名郷谷川頭首工(仮名)	名郷谷川	-	0.3	0.3	0.001	0.001	-	
前畑川頭首工1(仮名)ほか1箇所	前畑川	-	(3.4)3.5	(3.4)3.5	0.012	0.012	-	
-	渓流	-	(1.9)2.0	(1.9)2.0	0.007	0.007	-	
計			(26.4)27.0	(26.4)27.0	(0.095)0.096	(0.092)0.093		

(ウ) 揚 水 機　　該当なし

(第10表-5)

項目 / 名称	水源名	かんがい面積(ha) 事業名	計	所要水量(m3/s) 最大	平均	揚水機 実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m3/s)	備考

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

項目 / 名称	かんがい面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	計	最大通水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	備考
支線用水路	(20.6) 21.2	(20.6) 21.2	0.006～0.180	2.11	角フリューム(KF200～500)	
計	(20.6) 21.2	(20.6) 21.2	0.006～0.180	2.11		

(オ) そ の 他 の 水 源 施 設

該当なし

(3) 水 温 水 質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第 4 節 排 水 計 画

1 計 画 基 準 雨 量

1/10年確率 (時間雨量) 48.0 ㎜/hr (4時間雨量) 96.9 ㎜/4hr

1/2年確率 (時間雨量) 31.6 ㎜/hr (4時間雨量) 63.2 ㎜/4hr

2 計 画 排 水 方 式

角フリュームまたはDFフリュームにより河川または下流水路へ自然排水する。

3 計 画 排 水 系 統

別添資料⑤参照

4 計 画 排 水 量

(第11表-1)

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	計	流域面積(km2) 山地	平地	基準雨量(㎜)	降雨による直接単位流出量(m3/s/km2) 山地	平地	基底流出量(m3/s/km2) 山地	平地	全排水量(m3/s) 山地	平地 自然排水	平地 機械排水	単位排水量(m3/s/km2) 山地	平地	備 考
A	(9.9)10.3	(9.9)10.3	0.228	0.082	48.0	3.365	2.692			0.767	0.221		3.364	2.695	
B	(4.0)4.1	(4.0)4.1	0.300	0.018	48.0	3.365	2.692			1.010	0.048		3.367	2.667	
C	(6.6)6.9	(6.6)6.9	0.994	0.136	48.0	6.667	5.333			6.627	0.725		6.667	5.331	
D	(7.3)7.6	(7.3)7.6	0.327	0.085	48.0	3.365	2.692			1.100	0.229		3.364	2.694	
E	(1.2)1.3	(1.2)1.3	0.000	0.016	48.0	3.365	2.692			0.000	0.043		0.000	2.688	
計	(29.0)30.2	(29.0)30.2	1.849	0.337											

5 排 水 対 策

(1) 排 水 水 門 該当なし

(第11表-2)

項目 / 名称	流域面積(km2)		受益面積(ha) 事業名		計	計画排水量 排水量(m3/s)	地区内湛水深(m)	排水本川 名称	計画洪水量(m3/s)	計画洪水位(m)	備 考
計											

(2) 排 水 機　　該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量		排水機				備 考
				計	排水量 (m3/s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m3/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	
計											

(3) 排 水 路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha) 事業名		計画排水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計				名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
幹線・支線排水路	2.19	(29.0)30.2	(29.0)30.2	(11.726) 11.765	3.61	KF200～500 DF600*600	沼田川			
						～800*600				
計			(29.0)30.2		3.61					

(4) そ の 他　　該当なし

6 た ん 水 検 討　　該当なし

第５節 道路計画

１ 道路及び索道

(1) 道路

（第12表-1）

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
幹線道路	5.0(4.0)×0.67	アスファルト	県道・市道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×1.62	アスファルト	県道・市道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×0.86	砂利	県道・市道・農道に接続	
計	3.15			

(2) 索道　　該当なし

（第12表-2）

項目 路線名	能　力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考

２ 路線配置図　　計画平面図参照

第６節 農用地造成計画

１ 農用地造成計画　　該当なし

(1) 農用地造成計画　　該当なし

（第13表-1）

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図　　該当なし

２ 土壌改良　　該当なし

（第13表-2）

項目 区分	面　積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係　数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H_2O	KCl			石　灰 (t)	りん酸質 資　材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量　　該当なし

2 計画洪水量及び調節量　　該当なし

（第14表-1）

地点	流域 面積 (km2)	洪水 到達時間 (hr)	計画 洪水量 (m3/s)	安全 洪水量 (m3/s)	必要 調節量 (m3/s)	ピーク時 調節量 (m3/s)	ピーク時 調節後流量 (m3/s)	調節前後 最大流量 (m3/s)	調節前後 最大流量の差 (m3/s)	最大調節量 (m3/s)

3 貯水池　　該当なし

（第14表-2）

項目 貯水池名	流域面積(km2)		計画洪水量 (m3/s)	貯水量(千m3)			計画調節流量 (m3/s)	可能調節流量 (m3/s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討　　該当なし

(1) 河川改修計画との関係
(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画　　該当なし

(1) 管理機構
(2) ダム管理操作上の各種基準
(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画　　該当なし

（第15表）

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)		割合 (%)		田面差 (m)	備考
50×100	0.50	(13.4)	13.8	(54.0)	53.9	1m以内	
20×100	0.20	(5.4)	5.6	(21.8)	21.9	1m以内	
25×80	0.20		0.6	(2.4)	2.3	1m以内	
30×100	0.30	(5.4)	5.6	(21.8)	21.9	1m以上	
端田区							
計		(24.8)	25.6				

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
(24.8)25.6	肥沃度の保持が困難	15	(37,200) 38,400	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	計	土壌統(区)名	基準雨量 (㎜/日)	単位排水量 (ﾘｯﾄﾙ/s/ha)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
通常暗渠	7.0	7.0		40	4.6	0.6	自然排水	
地下水位制御システム(FOEAS)	4.6	4.6		40	4.6	(水位設定可)	自然排水	
計		11.6						

(2) 心土破砕

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積(ha) 事業名		計	土壌統(区)名	土壌硬度	備考
計						

3 客 土　　該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積(ha) 事業名			土壌統(区)名	減水深 (mm/日) 現況 平均	計画 平均	作土の厚さ (cm) 現況 平均	計画 平均	10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質 受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	備考
			計									

4 農 地 保 全

(1) 防 災 林　　該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備 考

(2) 排 水 工　　該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排水量 単位排出量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	備 考

(3) 侵 食 (崩 壊) 防 止 工　　該当なし

(第16表-5-3)

項目 区分	位置	支配面積 (ha)	機能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画　　該当なし

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2 堤体補強計画　　該当なし

3 取水施設改修計画　　該当なし

第５章 主 要 工 事 計 画

第１節　用 水 施 設

1 貯 水 池

該当なし

（第17表-1）

名称				位置						備　考
堤体	形式	流域面積(km2)		堤高	堤長	堤体積	基盤地番	貯水量(千m3)		
		直接	間接	(m)	(m)	(m3)	地質	総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)		取水施設	型式	取水量 (m3/s)	放流施設	型式	放流量 (m3/s)	

2 頭 首 工

該当なし

（第17表-2）

名　称				位置				備　考
型　式	堤高	堤長(m)			取水位	取水量	付帯施設	
	(m)	固定部	可動部	計	(m)	(m3/s)		

3 揚 水 機

該当なし

（第17表-3）

項目 / 名称	位置	揚水量 (m3/s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	

4 用 水 路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積(ha)	通水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事　業　名		開きょ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業								
支線用水路	(20.6) 21.2	0.006～0.180	2.113		2.113	KF200～500	1/200～1/500	角フリューム	
計	(20.6) 21.2		2.113		2.113				

第２節　排 水 施 設

1 排 水 水 門　　該当なし

（第18表-1）

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m3/s)	備　考
計							

2 排 水 機　　該当なし

（第18表-2）

項目 名称	位置	排水量 (m3/s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (㎜)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	

3 排 水 路

（第18表-3）

項目 水路名	受益面積(ha) 事　業　名 農地中間管理機構関連農地整備事業	排水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きょ	トンネル その他	計				
幹線・支線排水路	(29.0)30.2	(11.726) 11.765	3.608		3.608	KF200～500 DF600*600	1/200～1/400	角フリューム DF水路	
						～800*600			
計	(29.0)30.2	(11.726) 11.765	3.608	0	3.608				

4 そ の 他　　該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
幹線道路	1路線	5.0(4.0)×0.67	AS							
支線道路	15路線	4.0(3.0)×2.48	AS・砂利							
計		3.15								

(2) 道路主要構造物　　該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備　　考

2 索道　　該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 (　　)	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根　　該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備 考

(2) 除 礫　　該当なし

(第20表-2)

区分＼項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備 考

(3) 開 墾 作 業　　該当なし

(第20表-3)

区 分＼項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法			
計				

(4) 地 目 変 換　　該当なし

(第20表-4)

区分＼項目	面積(ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末 端 用 水 路 等　　該当なし

(第20表-5)

区分＼項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

(6) 末 端 排 水 路 等　　該当なし

(第20表-6)

区分＼項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

2 土壌改良　　該当なし

(第20表-7)

項目 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第5節　洪水調節施設

1 貯水池　　該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工　　該当なし

(第21表-2)

名称			位置					備考
			堤長(m)					
型式	集水面積 (km2)	提高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	

(2) 導水路　　該当なし

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m3/s)	延長(m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防　　該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2 潮 止 め　　該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3 付 属 施 設　　該当なし

4 埋 立　　該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備 考

第7節 農 用 地 整 備 施 設

1 区 画 整 理

(1) 区 画 整 理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
戸野	(24.8)		(184,230)	(24.8)	(37,200)	
	25.6	50a	190,170	25.6	38,400	

(2) 末 端 用 水 路 等　　該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末 端 排 水 路 等　　該当なし

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考

2 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積(ha) 事業名		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計	勾配	管種	管径(㎜)	延長(m/ha)	勾配	管種	管径(㎜)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	名称	構造	数量(m/ha)	
水田・畑	11.6	11.6	1/500 LEVEL	塩ビ管 有効PEW	φ50～75 φ50	42	1/500 LEVEL	合成樹脂管 有効PEW	φ50～75 φ50～100	0.6 0.5	10	1,155	排水路・用排水路	KF200～500		
計		11.6														

(2) 心 土 破 砕　　該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

3 客 土　　該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積(ha) 事業名			客入土量(m3)	土取場土量(m3)	運搬距離(km)	運搬方法	備考
			計					
計								

4 除 礫　　該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

5 農地保全

(1) 防災林　　該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路　　該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考

(3) 侵食防止工　　該当なし

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池　　該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	型式	流域 (km2)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考

2 提体補強施設

(1) のり面保護施設　　該当なし

(2) 漏水防止工　　該当なし

第６章　附 帯 工 事 計 画　　該当なし

第７章　工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

地 区 名	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	備 考
戸野	令和3年度	（令和7年度） 令和9年度	

第８章　環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき植物としてヒメフラスコモ・ミズマツバ・オオアカウキクサなど6種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたトノサマガエル・カヤネズミ・ゴクラクハゼなど11種が該当するが、これらについては施工前移動・移植など適切な対応を行なう。

また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行ない適切に対処する。

工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第９章　換 地 計 画 の 概 要

第１節　換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第２節　換 地 区 の 設 定

１ 換 地 区 の 名 称 、所 在 、面 積

（第25表-1）

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積（ha）
戸野	東広島市河内町戸野	(29.0) 30.2

２ 換 地 区 を 設 定 す る 理 由

該当なし

第３節 換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針

１ 従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準

（第25表-2）

換 地 区 名	地 積 の 基 準
戸野	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地（国土調査法第19条第5項の指定を含む）にあっては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地にあっては、広島県の行う実測による地積とする。

2 用途別予定地積

(単位:ha)　(第25表-3)

換地区名	用途(取得予定者) / 前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公用地	総合計
						通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9括弧書き)				本事業によって生ずる土地改良施設用地					特定用途用地				創設非農用地										
		田	畑	山林・原野	その他	土地改良施設	その他	小計	計	改良区	市	計	創設農用地	合計	宅地	その他	計	異種目換地	農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計	合計	国	県	市	合計		
戸野	従前の土地	(27.4) 28.4	0.3		(-) 0.0				(27.7) 28.7					(27.7) 28.7													(1.3) 1.5	(1.3) 1.5		(29.0) 30.2
	換　地	(24.5) 25.3	0.3						(24.8) 25.6	2.8		2.8		(27.6) 28.4													(1.4) 1.8	(1.4) 1.8		(29.0) 30.2
全体	従前の土地	(27.4) 28.4	0.3						(27.7) 28.7					(27.7) 28.7													(1.3) 1.5	(1.3) 1.5		(29.0) 30.2
	換　地	(24.5) 25.3	0.3						(24.8) 25.6	2.8		2.8		(27.6) 28.4													(1.4) 1.8	(1.4) 1.8		(29.0) 30.2

3 農用地集団化の方針

（第25表-4）

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
戸野	（地目別集団化） 造成される水田及び、畑地については、それぞれ地目別に連担化した団地にまとめて換地する。	母地集団化方式	おおむね2団地	（移動畦畔） ア．畦畔は配分面積に応じて移動して定める。 イ．「ア」の畦畔の設定にあたり短辺が10m以下となるような設定はしない。

4 非農用地の換地方法

（第25表-5）

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m2)	換地の手法	換地取得予定者	その他
戸野		該当なし				

第 4 節　土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式　　本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式　　事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第 5 節　換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
戸野	（令和4年～6年度）	（令和7年度）	（令和7年度）	（地区面積29.0ha）
	令和4年～8年度	令和9年度	令和9年度	地区面積30.2ha

第 6 節　換地処分の時期に関する特則

当地区の区画整理に係る工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文のただし書きの規定により、換地処分を行うことができる。

第 10 章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分 ＼ 事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	（百万円）	備　考
区　画　整　理	(427)	736	(2)
暗　渠　排　水	(36)	37	R6年度単価
土　壌　改　良		3	
小　　計	(466)	776	
測　量　試　験　費	(59)	83	
用　地　買　収　補　償　費	(32)	67	
換　地　・　確　定　測　量　費	(43)	47	
事　務　費（工事雑費含む）	(30)	49	
合　　計	(630)	1,022	
関連事業(参考)			

第 11 章　効用

（第27表）

事業名	区分 ＼ 項目	年総効果額（千円）	年増加農業所得額（千円）	備　考
農地中間管理機構関連農地整備事業	作物生産効果	(5,694)5,370	(17,328)9,335	
	営農経費節減効果	(40,250)46,591	(40,250)46,591	
	維持管理費節減効果	(△388)△426	(△388)△426	
	国産農産物安定供給効果	(2,314)934	－	
	計	(47,870)52,469	(57,190)55,500	

第 12 章 関係する事業

該当なし

（第28表）

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第 13 章 現況・計画図面

1 現形図
2 計画平面図及び土地利用計画図
3 主要構造図